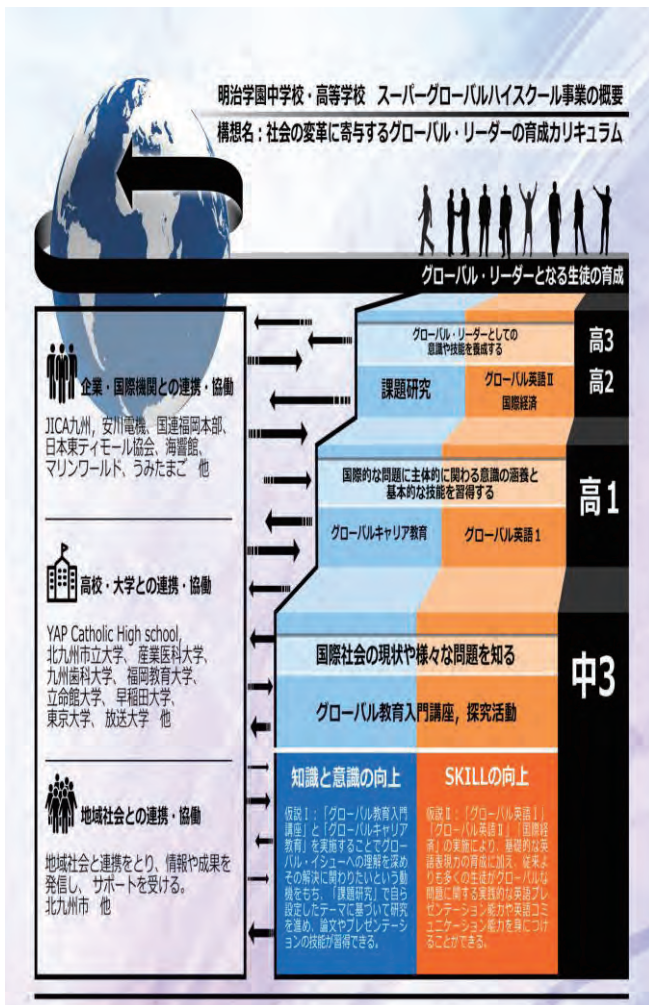


明治学園中学校・高等学校

社会の変革に寄与するグローバル・リーダーの育成カリキュラム

【構想の概要】

本学園が考えるグローバル・リーダーの資質は、国際的な社会課題に対して、自分の考えを持ち他者の考えを統合しつつ独自の最適解を導き出し、それを実践することである。このようなリーダーに期待されることは、その人間力によって社会を変革し、よりよい未来社会を創造する主体としての役割を果たすことにある。本学園は、このような人材育成のためのカリキュラム開発をすすめてきた。とりわけ「課題研究」を効果ある学びとするために、高校では「グローバルキャリア教育」と「グローバル英語Ⅰ・Ⅱ」、「国際経済」を開設し、互いに響き合い、相乗効果が出るように内容充実に努める。特に、「課題研究」の内容を充実するとともにこれまで実施してきた「Catholic Spirit」をPOST S GHのコアカリキュラムとして位置付け、指定の期間に培ってきた分析的思考力や論理的表現力を育成する指導のノウハウを統合する場としてカリキュラムの強化を図る。



RI (2019) 年度教育課程表

教科	学 年	1		2		3	
		共通	英語	英語	英語	英語	英語
国	国語総合 (4)	4					
	現代文B (4)		2	3	2	2	3
	古典B (4)		2	3	2	2	4
語	英語					3	
	世界史A (2)	2					
理	世界史B (4)			4			
	日本史B (4)			4			
歴	地理B (4)		3	4			
	歴史探究				3		
史	地理探究					4	4
	歴史演習					2	
公民	現代社会 (2)	2					
	公民探究					3	3
数	数学Ⅰ (2)	4					
	数学Ⅱ A B (8)						
	数学Ⅲ (5)						
	微分・積分		3	4		4	
	探究数学				4	3	3
	数学α	2					3
	数学β						3
数学γ				4		2	
学	数学概論		1				
	物理基礎 (2)	2					
	物理 (4)			4			
	化学基礎 (2)	2					
	化学 (4)		4				
	生物基礎 (2)	2					
	生物 (4)						
	基礎化学					2	
	理科演習						3
	医療生命倫理		0~1				
保体	体育 (7)	3	2	2	2	2	2
	保健 (2)	1	1	1			
芸術	音楽Ⅰ (2)	2					
	書道Ⅰ (2)						
外国	コミュニケーション英語Ⅰ (3)	3					
	コミュニケーション英語Ⅱ (4)		4	4			
	コミュニケーション英語Ⅲ (4)				3	3	4
	英語表現Ⅰ (2)					4	4
英語	英語表現Ⅱ (4)				3	3	4
	グローバル英語Ⅰ	2					
英語	グローバル英語Ⅱ						
	総合英語 (2)					3	
情報	家庭基礎 (2)	2					
	社会と情報 (2)						
総合	情報の科学 (2)						
	総合的な探究の時間 (3)						
特別特別	ホームルーム活動 (3)						
学校	Catholic Spirit	2	2	2	2	2	2
	課題研究		0~1	0~1	0~1	0~1	0~1
教科	グローバルキャリア教育	1					
	国際経済						
合 計		34	34~36	34~36	33~34	34~35	34~35

※グローバル英語Ⅰ・Ⅱは、英語表現Ⅰの内容を含む

本学園の概要

1910年に開校し、長い歴史をもつ本校は「まことの自由への教育」を通して、21世紀を担う子どもたちの教育に励んでいる。グローバル社会のますますの広がりの中で、「人々のための人に」を合言葉に、神様に愛されている自分自身を大切に、他者をも尊重する生き方を実践し、学びを通して自分自身の使命に目覚め、自分にしかできない社会貢献を見出すことを目的とする全人教育を目指している。

「自律した学習者」になるための取り組み ～アカデミックメソッド～

新学習指導要領では様々な人と協働・協力する姿勢、自分の考えを明確に述べて、他者の考えを正確に理解する力、そして具体的な根拠にもとづき見解を述べる力が重要視されている。

本校ではただ学ぶのではなく、学び方を学ぶことを目指す。今ある知識はすぐに古びてしまうからこそ、学び続ける姿勢を育み、常に最先端の「知」を追究し続ける生徒を育てるため、以下に示す探究型教科「アカデミックメソッド」をカリキュラムに組み込み、新たな学びに対応している。

① ソーシャルスキル

他者と良好な人間関係を築くための社会的スキルを育む。相手を承認しつつ自分の感情や意見を表現し、安全・安心な場所で協力しながら共に成長していく基礎を培っていく。

② プレゼンテーションスキル

表現・発信に関するスキルを習得する。自分の意見や考えを他者と共有するために、本当に伝えたいことを整理することや、わかりやすい表現方法を学び、実践する。ICTを使った発表の指導も行う。

③ アカデミックスキル

問いの立て方や必要な情報の集め方といった研究方法の基礎を習得していく。探究の技能を意識して主体的に活動していくことで、思考力と探究方法を培い、アカデミックメソッドの後に履修する課題研究の更なるレベルアップを図る。

上記を通じて探究活動に親しんだ後、各自のテーマに沿って課題研究を行っていく。いずれの活動でも日常生活や社会環境に目を向け、「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」を繰

り返し行いながら、問題解決的な学習を発展させていく。こうした一連のカリキュラムを通じて、広い視野を持って、言語運用能力や論理的思考力、考えや価値観の異なる他者と協働する力を発揮して、自主的自発的に課題を発見し、解決する意思と力を備える「自律した学習者」になれると考える。

カリキュラム上の体験的活動

1. 大学・企業・国際機関等との連携授業

外部諸機関との連携授業を年間計画上に配置し実施している。以下はその例を示す。

※「 」はテーマ、()は連携機関

「医療と海外支援活動」(国境なき医師団)

「難民と海外支援活動」

(国連高等難民弁務官事務所協会)

「貿易とグローバル企業」(伊藤忠商事)

「グローバル時代の外交官の役割」

(元衆議院議員)

「途上国支援と水ビジネス」

(北九州市上下水道局海外事業課)

「EUの成り立ち」(ベルギー大使館/公使参事官)

「JICAと途上国支援」(九州海外協力協会事務局)

他、平成30年度計14回実施

2. 課題研究コンテスト・発表会

校内発表会のみならず、校外の課題研究コンテストや発表会、シンポジウム、学会に参加。

・「YWP Water - Wise Innovation Challenge! -Mission for Phnom Penh Cambodia」

(国際シンポジウム)

・「世界津波の日」2018 高校生サミット in 和歌山

・九州大学アカデミックフェスティバル

・「Asia Pacific Conference in FUKUOKA」

(国際学会)

・「SGH 甲子園」

・「SGH 全国高校生フォーラム」

・「国際環境シンポジウム」

(韓国大邱カトリック大学)

・高校生起業家教育プレゼンテーション大会

・「サイエンスキャッスル 2018 九州大会」